

## 2025年3月11日 東日本大震災から14年を数えての祈り

東北バプテスト連合 被災支援委員会

主よ、東日本大震災から14年の時が経ちました。14年前の大震災の痛みと悲しみを覚えて祈ります。またこの14年間の歩みを覚えて祈ります。今も悲しみや不安、分断の中にある一人ひとりを慰め、励ましてください。これまでの歩みに、イエスさまが深い憐れみをもって寄り添ってくださったことを信じます。そのことによって、「神は私たちと共におられる」という希望を忘れることがありませんように。そして、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故の記憶が風化しませんように。

阪神淡路大震災発生から30年経った今、東京電力福島第一原子力発電所事故から30年後を思い浮かべます。どうか低線量被ばくによる健康被害から守られますように。さらに原発事故収束の様々な課題について祈ります。経年劣化した原子炉がさらなる被害を生むことがありませんように。廃炉作業が安全に進みますように。汚染土の県外排出と処理が適切に行われますように。トリチウムを含む汚染処理水の問題が解決しますように。復興や帰還推進の中で、不安を口にできずにいる方々に平安がありますように。そうした方々や事柄に、教会が隣人として共に歩むことができますように。

現在、能登半島地震・豪雨被害やアメリカのカリフォルニア州での大規模な山火事をはじめ、様々な国や地域で次々と災害が起こっています。そのような中で、宮城県東北電力女川<sup>おながわ</sup>原子力発電所が2024年12月26日に再稼働されました。今こそ「知る力と見抜く力とを身に付けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」(フィリピの信徒への手紙1章9節～10節)という祈りがますます深められますように。

また、あらゆる災害で被災された方々の生活と健康が守られますように。必要が満たされますように。新型コロナウイルスなどの感染症から守られますように。そして私たち日本バプテスト連盟の教会・伝道所が祈りを合わせ、協力して被災地域を励まし、必要な働きをなしていくことができますように。疲れの中にある方に休息をお与えください。

すべての人の安全が守られ、すべての人が主の平安で満たされますように。

御心が行われますように、天におけるように地の上にも。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。